

第3回豊明市下水道事業経営検討委員会議事録

- 1 日 時 2024（令和6）年8月19日（月）午後2時～午後3時30分
- 2 会 場 豊明市役所 新館1階 会議室4
- 3 出席者 委 員 7名出席
事務局 経済建設部長、下水道課長、下水道課長補佐兼工務担当係長、
業務担当係長、業務係員
傍聴者 4名
- 4 議 事 （1）公共下水道未普及地区の整備方針について（答申）

5 議事内容

■部長あいさつ

本日は、答申の内容について委員の皆様にご話し合ってくださいと思います。よろしくお願いいたします。

■議事

- （1）公共下水道未普及地区の整備方針について（答申）
委員長が答申（案）を読み上げ。

委員長 答申の内容について、委員の意見を求める。

委 員 公共下水道の整備範囲を縮小するという内容がまとめてあり、経済状態や住民の負担を考えると妥当な答申ではないかと考えている。

委 員 住民の負担軽減という意味では、公共下水道への接続よりも合併浄化槽への切り替えの方が約29万円安いという試算になっている。その金額をどう捉えるかは人によると思うが、住民の方に極力負担がかからないような内容になっているかと思う。

委 員 答申の最後の方に「旧農村集落家庭排水地区を除く」とあるが。
事務局 沓掛地区で農村集落家庭排水として整備した区域があり、そちらは調整区域ではあるが、浄化槽を使用している地域ではないので、「除く」と記載している。

委 員 生活排水が環境へ与える影響として、公共下水道と合併浄化槽の水質は同等の数値であると伺っている。単独浄化槽から合併浄化槽への切り替

えの場合は、約62万円の補助金があるため住民の負担も軽減される。
住民が負担する維持管理費として、公共下水道と合併浄化槽を比較するとおおよそ同じぐらいの金額という試算があったが、公共下水道の場合は、水量が多い世帯ではさらに金額が高くなる。
また、未普及地区の公共下水道整備には、約50億円の費用がかかるという試算があり、その半分以上が市の負担になる。
これらを総合的に考えて、この答申の内容で良いと考える。

- 委 員 調整区域の中には、丘陵地になっている場所も多く、そもそも公共下水道の整備は難しかったのではないかという意見も住民から聞いたことがある。
- 委員長 住民からこのような意見があったとのことだが、市街化区域でこのような場所があった場合はどのように対処しているのか。
- 事務局 そういう場所では、ポンプを設置して低いところから高いところへ汚水を汲みあげて流すという方法をとっている。ポンプを動かすためには電気が必要なので、その分だけ維持管理費も多くかかっている。
- 委員長 同じ条件で、合併浄化槽で処理した場合はどうなるのか。
- 事務局 合併浄化槽では、浄化した排水を道路側溝に流すことになる。その水は側溝を自然流下で流れていき、やがて河川に流れていく。つまり、ポンプなどは原則使用しない。
- 委 員 市街化区域で既に公共下水道に接続している住民の方からは、公共下水道への接続工事に結構お金がかかって大変だったという話を聞いていた。この委員会で工事にかかる住民負担の試算をみるとやはり公共下水道への接続はハードルが高いなと感じた。
- 委員長 それらを踏まえて、答申案として、調整区域の汚水処理を公共下水道の整備ではなく、合併浄化槽での汚水処理を推進する区域とすることで、住民と市、双方の負担を相対的に軽減するという内容にできているかと思う。
- 委 員 この答申案の内容に賛同する。
気になるところとして、答申案にも103万円や74万円という数字があるが、数字は相手にインパクトを与えるので、ミスリーディングさせないよう丁寧な説明が必要になる。未整備区域187haの中には、すでに合併浄化槽を使用している世帯もあり、そういった方に「また新たに74万円かかるのか」という誤解を与えないようにしなければならない。
もう1点、付帯意見（3）について。未整備区域の中で、公共下水道の整

備を望んでいた方々にも、答申の内容に基づいて説明をすることになる。しかし、下水道事業の経営状況として、経費回収率が約89%であり、これは一般財源すなわち市民全体の負担として10%程度の繰り入れをしていることになる。経費回収率が早めに100%に到達するよう動いていくことを示せないと、未整備区域の方への説明としては難しいと思う。そこで、付帯意見（3）の「下水道使用料の改定について検討を行うこと」に「速やかに」という文言を加えるべきか否か意見を伺いたい。

委員長 下水道使用料で賄い切れていない部分の約10%について、受益者負担の原則や負担の平等性という観点から、下水道使用料の改定について早急な対応が求められると考えられる。これに対して、「早めの対応を行う」ということの表現として「速やかに」という文言を加えてはどうかという提案だが。

委 員 良いと思う。

委員長 審議結果の2段落目の最後「汚水処理の役割を合併処理浄化槽も果たしていると考えられる」とある。これは「考えられる」で良いのか、「果たしている」と言い切った方が良いのか。

根拠数値としては、「果たしている」と言い切っても問題ないのか。

事務局 問題ない。

委員長 それでは、「考えられる」という文言は削って、「汚水処理の役割を合併処理浄化槽も果たしている」という文章に変更しても良いか。

委 員 異議なし。

委員長 その他に意見はないか。

委 員 近隣市町の動向として、いくつかの自治体で下水道使用料の改定を行うという情報が新聞記事等に出ていた。それぞれ経費回収率の目標を定めて、値上げを行っていくようだ。

赤字を一般財源から補填しているということは、未整備区域の住民も下水道使用料を払わされているのと同義であると思う。豊明市でも下水道使用料改定の必要性について検討していくべきだと改めて感じている。

委員長 それでは、最終確認をする。2点の修正を行う。

- ・「1 審議結果」の2段落目の最後
「汚水処理の役割を合併処理浄化槽も果たしていると考えられる。」
果たしていると考えられる。→果たしている。
- ・「2 付帯意見」の(3)

「下水道使用料の改定について検討を行うこと。」

検討を行うこと。→速やかに検討を行うこと。

また、文面の修正ではないが、「2 付帯意見」の(1)について。

住民へ計画の見直しについて説明を行う際は、誤解を与えないように丁寧な説明を行っていくよう求める。

以上。よろしいか。

委 員 異議なし。

■答申書の提出

公共下水道未普及地区の整備方針について（答申）

委員長より副市長へ答申書の提出。

副市長 我々の責務として、いただいたご意見をもとに、しっかりと施策を進めて参りたいと思っております。ご審議いただきましてありがとうございました。